

鹿児島県立鹿屋農業高等学校

団体の紹介・活動の目的

本校は、今年、創立123年目を迎える農業高校です。校訓に誠実・敬愛・力行を掲げ、農業高校としての教育活動を通じ、これからの社会で活躍できる資質・能力と豊かな人間性の育成を目指しています。現在、設置学科は農業科、農業機械科、畜産動物学科、生物工学科、緑地工学科、生活科の6学科です。生徒数は約480名で離島を含む県内全域から将来の農業の担い手や農業のスペシャリストを目指し入学しています。

活動名：農家委託実習

科目「総合実習」の一環として、専門科目の実験・実習などの学習成果をもとに、地元優良農家において体験学習することで、農業に関する理解を深めるとともに豊かな心の醸成に努める。また、農家での宿泊実習を通して自宅とは違った生活を体験することにより、多角的な考え方が出来るようになるとともに、将来の進路決定の指針とする。

活動の内容

鹿児島県によると県内販売農家は57,000人で、10年前と比べて33,000人も減少しています。また、15～39歳の割合も8.2%から6.2%に減少しています。全国的にも同様の状況の中、本校も「担い手の育成と確保」を喫緊の大きな課題として捉えています。そこで本校では、地域農家や関係機関の協力のもと「農家委託実習」を実施しています。生徒達は7泊8日、受入農家でより実践的な実習を行い、農家と寝食を共にし、人生観や農業観を学びます。この研修を通し、「農業」に対する職業観を高め、将来の進路の糧とします。

連携・協力している団体など

大隅地域振興局農林水産部農政普及課
 曾於畑地かんがい農業推進センター農業普及課
 大隅地区受入農家・農業法人（耕種：16戸、畜産：19戸）（H30年度）
 曾於畑地かんがい農業推進センター農業普及課
 大隅地区受入農家・農業法人（耕種：16戸、畜産：19戸）（H30年度）

①



「農家委託実習受入式の様子」

農家委託実習の開始にあたり、学校・生徒・保護者、地域振興局職員、受入農家が一堂に会して、生徒の決意表明や受入農家との顔合わせなどを行います。

②



「農家委託実習の様子（畜産農家）」

日頃の授業や実習で学んだ学習や経験を、実際の畜産農家の現場で実践し、就農意欲や職業観を深めます。（生徒同士の連携も深まります）

③



「農家委託実習の様子（園芸農家）」

日頃の授業や実習で学んだ学習や経験を、実際の園芸農家の現場で実践し、就農意欲や職業観を深めます。（従業員の方との共同作業）

④



「巡回指導時の様子」

研修の中日頃に生徒の実習の様子や受入農家のご意見等をお聞きし、より研修が充実するよう、地域振興局の職員と学校職員で巡回指導を行います。